

令和4年度 全国学力・学習状況調査の瑞穂町の結果、分析および方策等について

I 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果（国語、算数・数学、理科）について

1 結果内容

小学校6年生および中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が令和4年4月19日に行われ、その結果が公表されました。この調査は、児童・生徒の学力や学習状況の把握・分析を通して、教育委員会の取組の成果や課題の検証、改善を図るとともに、学校における教育指導の改善・充実に役立てることを目的として実施されています。

令和3年度の結果と令和4年度の結果の比較（平均正答率）および全国との差（％）

<小学校第6学年>

	国語			算数			理科		
	全国	町	国との差	全国	町	国との差	全国	町	国との差
3年度	64.7	53.0	-11.7	70.2	61.0	-9.2			
4年度	65.6	49.0	-16.6	63.2	50.0	-13.2	63.3	49.0	-14.3

<中学校第3学年>

	国語			数学			理科		
	全国	町	国との差	全国	町	国との差	全国	町	国との差
3年度	64.6	52.0	-12.6	57.2	46.0	-11.2			
4年度	69.0	58.0	-11.0	51.4	36.0	-15.4	49.3	41.0	-8.3

2 傾向

- 国や都と比較すると平均正答率を下回る結果となっています。令和3年度と比較しても令和4年度は、その傾向は、ほぼ同じでした。全ての調査教科において、10～15ポイント程度下回っています。
- 問題別に回答の傾向を見てみると、無回答率が小学校は、全国平均の3倍程度、中学校は、全国平均の2倍程度となっています。

II 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果（児童・生徒質問紙調査）について

小学校6年生および中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査と同時に、児童・生徒の学習意欲や生活状況に関する質問紙調査も行われました。

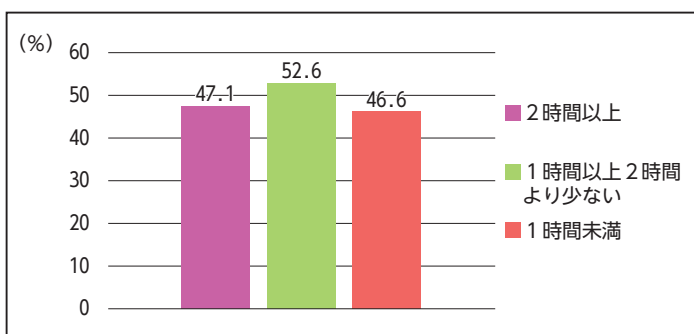
令和4年度 質問紙調査の結果（抜粋）（％）

1 平均正答率と意識調査の相関関係の例

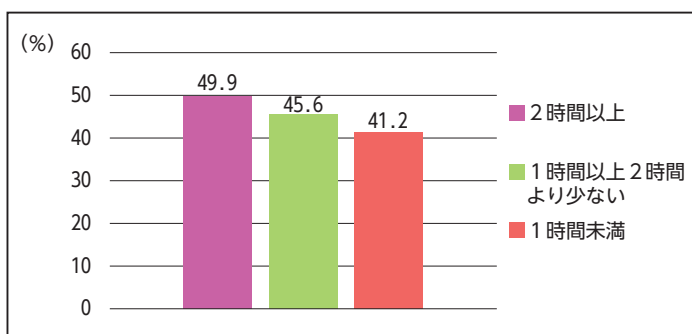
（瑞穂町の結果、点数は国語および算数・数学の平均正答率を合わせた結果）

質問：学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

（小学校 第6学年）



（中学校 第3学年）



2 質問紙調査の結果のうち、瑞穂町において「課題となる項目」(抜粋)

<小学校第6学年>

黄色・・・前回より改善が見られた項目 青色・・・前回より下回った項目

質問事項	選択肢(抜粋)	令和4年度 町	全国	国との差	令和3年度 町	短評
学校の授業以外に普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	3時間以上、2時間以上3時間より少ない	16.8	25.1	-8.3	17.6	1日あたりの勉強時間で、1時間未満の児童の割合が減少しているが、依然、全国平均との差が大きい。
	1時間以上2時間より少ない	31.0	34.3	-3.3	28.1	
	1時間未満、全くしない	52.2	40.5	11.7	54.3	
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	当てはまる、どちらかといえば当てはまる	39.2	51.3	-12.1	38.9	地域に貢献しようとする児童の割合は、横ばいで推移。全国平均より下回っている。
5年までの授業で、発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、方法を工夫して発表していましたか	発表していた、どちらかといえば発表していた	58.0	65.4	-7.4	53.8	発表の機会が増えているが、全国平均より下回っている。

<中学校第3学年>

質問事項	選択肢(抜粋)	令和4年度 町	全国	国との差	令和3年度 町	短評
学校の授業以外に普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	3時間以上、2時間以上3時間より少ない	30.8	35.2	-4.4	31.9	前回より、2時間以上の割合は減少した。1時間未満の生徒の割合が増加した。
	1時間以上2時間より少ない	29.0	34.3	-5.3	30.9	
	1時間未満、全くしない	39.4	30.4	9.0	37.3	
家で、自分で計画を立てて勉強していますか	している・どちらかといえばしている	55.4	58.5	-3.1	49.8	自分で計画を立てて勉強する生徒の割合は増加したが、全国平均は下回っている。
1、2年までの授業で、発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、方法を工夫して発表していましたか	発表していた、どちらかといえば発表していた	61.1	63.3	-2.2	59.7	全国平均との差が縮まり、改善されている。発表の内容をさらに深めさせていきたい。

3 傾向・分析

- 放課後学習「学びのテーマパーク」等の時間を活用し、毎日1時間程度、自学学習の計画している子どもは、学力が向上しています。
- 児童・生徒の学力調査と意識調査の相関関係を分析すると、授業時間以外に「1時間以上勉強をする」と「1時間未満しか勉強していない」では、学力調査の結果で4.4ポイント以上の差が生じています。ご家庭でも学習時間の確保していただくようお願いします。